

令和6年11月 1日

川崎市議会議長 青 木 功 雄 様

横浜市在住者

現在整備中の水江町公園や、浮島沖埋立地等における、海釣り施設の併設及び川崎港発展のために、市民、議員、行政、学者、商工会、企業、遊漁船事業者等で構成する協議会設置を求める
陳情

陳 情 の 要 旨

川崎区水江町に位置する現在整備中の水江町公園や、川崎区浮島町に位置する埋立て中の浮島沖埋立地等に、海釣り施設を併設していただきたい。

また、川崎港発展のために、市民、議員、行政、学者、商工会議所、企業、遊漁船事業者等で構成する協議会を設置していただきたい。

陳 情 の 理 由

- 1 現在整備中の水江町公園や浮島沖埋立地等に、海釣り施設を併設していただきたい件について

私は、過去2回、「東扇島東公園岸壁、大川緑道公園に釣り施設を作っていただきたい。」という陳情をしてきました。残念ながら2回とも不採択でした。しかし、資料や議事録を見れば、「一方で、海に触れ合える機会は大切であり、現在閉鎖中の浮島つり園の再開は困難なことから、安全に釣りのできる場所を検討している。」との記載があります。また、具体的な名称では、「水江町公園の整備に伴い釣り場を検討する。」ような論議もあります。是非、水江町公園や浮島沖埋立地等に新たな釣り施設を作っていただきたいと思います。

また、この審査及び不採択の根底には、誤認もあると感じています。それは、「本市で唯一釣りができる東扇島西公園は、釣り人で混雑していない。」、

「釣り場は不足していない。」というような認識です。これは認識不足に基づく誤認です。

現状そして現実には、本市の釣り人は、東扇島西公園だけでは入りきれないので、横浜市の釣り施設に行っているのです。同時に、横浜市の釣り人も、本市の東扇島西公園を利用しています。しかし、釣り施設の利用度合いで言えば、市民による横浜市釣り施設の利用は、横浜市民による東扇島西公園利用の7倍以上と言ってもいいでしょう。

現在、本市の人口は155万人（2024年（令和6年）9月）です。横浜市の人口は377万人（2024年（令和6年）10月）です。本市の人口の約2.4倍です。しかし、海釣り施設の数においては、横浜市は本市の6倍以上の施設を有しています。

本市の釣り施設は、閉鎖となっている浮島つり園を除けば、唯一東扇島西公園（長さ600m）だけです。それに比べ、前記したように、横浜市には6倍以上の釣り施設があります。市側から見れば、鶴見区、末広水際線プロムナード（通称ふれーゆ裏）、鶴見区、大黒海づり施設、中区、本牧海づり施設、磯子区、磯子海づり施設、磯子区、杉田臨海緑地、金沢区、金沢水際線緑地があります。さらに、現在埋立てが進んでいる新本牧ふ頭埋立地には、新たな釣り施設が併設されます。そして、横浜港のみなとみらい一帯、根岸湾一帯、野島一帯でも釣りができます。豪華客船が停泊する横浜港大さん橋国際客船ターミナルも、過去2回、釣り人に開放されました。つまり、釣り施設が不足している本市の釣り人は、横浜市の釣り施設を利用せざるを得ないのです。同時に、本市の釣り人は、その消費力（釣り施設入場料、エサの仕掛け代、交通費、食事代等）も、横浜市に落としているのです。

では、横浜市の各釣り施設を簡単に見ていきます。

- (1) 末広水際線プロムナード（通称ふれーゆ裏）は長さ680m、横浜市が設置し、港湾局が管理。ゴミ処理場、資源化センターの裏にあり、不採択とされた東扇島東公園岸壁と同じ、京浜運河に面しています。また、この施設だけで、本市で唯一の東扇島西公園の長さに匹敵します。
- (2) 大黒海づり施設は長さ200m、横浜市港湾局が設置し、イオンディライト株式会社が指定管理。この釣り施設は、横浜港の入口、横浜港の一番

外側の防波堤上にあります。地続きになって大黒ふ頭の一部になる前は、大黒新堤（又は第二新堤）と呼ばれる沖堤防でした。その赤灯台側の防波堤上に造られたのが、さん橋タイプの大黒海づり施設です。横浜港のベイブリッジ下を通る大型豪華客船は、この大黒海づり施設を眼下に見て航行するのです。のみならず、ベイブリッジ下をくぐれない、クイーンエリザベス号など超大型豪華客船は、大黒海づり施設の隣で、地続きの大黒ふ頭岸壁に停泊します。大黒海づり施設の釣り人や、その前段にある本牧海づり施設の釣り人が、海外からの観光客を迎えるのです。

(3) 本牧海づり施設は長さは護岸、渡りさん橋、沖さん橋の釣り場で総延長1,400m、横浜市港湾局が設置し、イオンディライト株式会社が指定管理。本牧ふ頭の岸壁を利用し、また沖合に渡さん橋、沖さん橋を併設した海釣り施設です。この渡さん橋や事務所等は、本市浮島つり園に被害をもたらした2019年（令和元年）の台風で破損しました。しかし、現在は修理が終わり、海釣り施設として再開されています。

(4) 磯子海づり施設は長さ500m、横浜市港湾局が設置し、イオンディライト株式会社が指定管理。火力発電所の岸壁に沿って、釣りさん橋を併設し、海釣り施設にしています。

(5) 杉田臨海緑地は長さ200mくらい、港湾局が管理。東芝工場やヤマト運輸の倉庫など、工業地帯に囲まれた公園の海側を、釣りができる施設にしたものです。

(6) 金沢水際線緑地（金沢緑道公園）は長さ1,000m、港湾局管理。前記した2019年（令和元年）の台風で破壊された福浦岸壁を、改修したものです。新たに岸壁のかさ上げを行い、海釣りができる岸壁に開放したものです。金沢水際線緑地の陸側一帯は、工場、物流センター、倉庫、事務所が密集する工業団地です。

(7) 現在埋立て中の新本牧ふ頭埋立地の岸壁にも、新たな新本牧海釣り施設（長さ360mくらい）が併設される予定です。

数ある釣り施設でも、大黒や本牧の海釣り施設では、土日の開園前に行列ができることがあります。そして、入りきれない場合は、開園後も行列が解消されません。末広水際線プロムナードも、盛期の休日の午後には、1mく

らの間隔で釣り人が並ぶことがあります。何回も記載しますが、女性釣り師や、若いファミリー層、そして外国籍の釣り人が増えているからです。

横浜市は、市民の要望や、紆余曲折を経て釣り施設の数を増やしてきました。横浜市横浜港は、観光に力を入れています。各ふ頭は、川崎港と同じ物流・流通センター、コンテナターミナル、倉庫の利用地であり、ガントリークレーンが立ち並んでいます。さらに、川崎港には石油関係の精製施設や工場、様々な貨物船が接岸し、停泊する施設があります。なぜ、横浜市にできて本市にできないのですか。市民の憩いと、生活不安の解消に寄り添っていないと思いませんか。

横浜市の恩恵に預からざるを得ない市民のために、水江町公園の整備や浮島沖埋立地を含む川崎港一帯で、海釣り施設を造っていただきたいと思います。そして、少しではあっても、川崎の釣り人の消費が、地元で使われるように、と思います。市の予算規模から考えても、本市に、あと1つか2つの釣り施設ができてもおかしくありません。よろしくお願いいたします。

2 川崎港発展のために、市民、議員、行政、学者、商工会議所、企業、遊漁船事業者等で構成する協議会を設置していただきたい件について

川崎港は、多摩川の砂利を運ぶ港から、京浜工業地帯の港として発展してきたと思います。同時に、これからも、様々な方向に発展する力を備えていると思います。例えば、外国人観光客の招請です。現在、外国人観光客の招請、インバウンド需要がGDPを支える国の施策になっています。コロナ禍後も、年間3,000万人を超える外国人観光客が来ると言われています。

本市は、多様な文化と住民が生活する多文化共生の地です。この母体の上に、外国人観光客の招請に寄与する道があるのでは、と思います。

まず、東扇島の沖側外貿バースや、京浜運河側の市営ふ頭、或いは浮島沖埋立地に、外国からの豪華客船が停泊できる国際客船ターミナルを併設します。豪華客船1隻から2隻は、停泊できるのでは、と思います。東扇島防波堤と東扇島外貿バースの間でも、回航さえしなければ、豪華客船は航行できるのでは、と思います。

そして、国際客船ターミナルからの観光ルートも、いくつか設定できます。

例えば、

- (1) 本市の商業・文化施設を巡るルートとしては、ラゾーナ川崎プラザ（2021年（令和3年）ショッピングセンター全国売上高1位を誇る商業施設）、ミューザ川崎シンフォニーホール（音楽鑑賞）、カワスイ川崎水族館、関東を代表する川崎大師と仲見世通りを巡るルート（川崎大師は、浅草寺に匹敵する格があり、初詣客も浅草寺と同等の300万人前後）。
- (2) 同じく本市等の商業・文化施設を巡るルートとしては、サンリオピューロランド（屋内型テーマパーク、セレブも含めて世界的な人気のキティちゃんを始め、サンリオキャラクターが集合する施設）、藤子・F・不二雄ミュージアム（アジア各国で抜群の知名度を誇るドラえもんの世界）、日本民家園（外国人が憧れる日本の古民家25棟が建つ博物館）、そして、チネチッタのコスプレイヤーイベント、昼は川崎のソウルフードとも言われる溶き卵入りニュータンタン麺の食事を設定するルート。
- (3) 技術・工業施設を巡るルートとしては、多摩川河口の羽田イノベーションシティ、化学産業、味の素株式会社の見学（既に見学設備があります。）、川崎市環境技術情報に参加する企業の見学、そして、京葉工業地帯と並んで日本の工場夜景を代表する川崎港工場夜景を見学するルート。
- 少し遠くに足を延ばすルートとすれば、
- (4) 東扇島から、湾岸道路や、大井の合流渋滞を回避すべく首都高速1号羽田線を利用して、東は、東京ディズニーリゾートに行くルート。
- (5) 同じく東扇島から、湾岸道路、つばさ橋、ベイブリッジ経路で、西は、みなとみらいに行くルート。

などです。

このような外国人観光客の招請だけでなく、市民の生活に寄与するために、いかに川崎港を活用していくのか、このような施策の協議と実現に向けて官民協働の協議会（市民、議員、行政、学者、商工会議所、企業、遊漁船事業者などで構成する協議会）を設置していただきたいと思います。そして、その協議の中に、是非、海釣り施設の設置も検討していただけたらと思います。